

5.3 科学研究費など外部資金

a. 研究課題 b. 研究代表者 c. 金額

(1) 民間との共同研究

- a. 複合望遠鏡におけるセグメント鏡支持機構の開発とそれを用いた宇宙物理学の研究
- b. 柴田一成 (民間:株式会社ナノオプトニクス・エナジー)
- c. 910,000 円 (9 月 30 日締、1 年更新)

(2) 基盤研究

(2.1) 基盤研究 (A)

- a. 偏光分光スペクトルによる新しいプラズマ診断手法を用いた太陽活動現象の研究
- b. 一本 潔
- c. 平成 22 年-25 年 (総額 35,100,000 円) 平成 24 年度: 3,200,000 円

(2.2) 基盤研究 (C)

- a. 北井礼三郎
- b. 2 次元高分解能分光観測による太陽表面ジェットの研究
- c. 平成 23 年-25 年 (総額 4,100,000 円) 24 年度:1,800,000 円

(2.3) 基盤研究 (B) 分担者

- a. 太陽フレア・トリガ機構の解明とその発生予測
- b. 代表: 草野 完也 (名古屋大学) 分担: 浅井 歩
- c. 550,000 円

(2.4) 基盤研究 (B) 分担者

- a. 太陽 multi-conjugate 補償光学系の実用化
- b. 代表: 三浦則明 (北見工業大学) 分担: 一本 潔
- c. 100,000 円

(3) 若手

(3.1) 若手 (B)

- a. 太陽大気の弱電離プラズマにおける磁気エネルギー散逸メカニズムの研究
- b. 磯部 洋明
- c. 平成 22 年-24 年 (総額 3,100,000 円)

(3.2) 若手 (B)

- a. 全自動リアルタイムサーベイシステムの開発による突発増光天体の観測
- b. 前原 裕之
- c. 平成 23 年-24 年 (総額 2,900,000 円) 平成 24 年度: 700,000 円

(3.3) 若手 (B)

- a. 太陽フレアに伴うコロナ擾乱現象の観測的研究
- b. 浅井 歩
- c. 平成 24 年-26 年 平成 24 年度: 700,000 円

- (4) 日本学術振興会
 - (4.1) 特別研究員 奨励費
 - a. 太陽黒点の三次元構造と宇宙天気への影響
 - b. 渡邊皓子
 - c. 1,200,000 円
- (5) 京大生存圏研究所
 - (5.1) 生存圏ミッション研究
 - a. 1926 年–1969 年の 44 年間にわたる太陽活動 CaIIK 画像データベースの作成
 - b. 北井 礼三郎
 - c. 400,000 円
- (6) 名古屋大学太陽地球環境研究所
 - (6.1) 「地上ネットワーク観測大型共同研究」
 - a. 国際協同太陽地上ネットワーク観測データを用いた太陽活動の地球磁気圏への影響に関する国際学術交流・共同研究の推進
 - b. 柴田 一成
 - c. 460,000 円
 - (6.2) 「地上ネットワーク観測大型共同研究」
 - a. 高分解能撮像観測と数値モデリングによるフレア発生機構の研究
 - b. 一本潔
 - c. 509,000 円
 - (6.3) 「地上ネットワーク観測大型共同研究」
 - a. 太陽画像データに基づく太陽紫外線放射量の活動周期変動の推定と、超高層大気への影響
 - b. 浅井歩
 - c. 570,000 円
 - (6.4) 「データベース共同研究」
 - a. 44 年にわたる京大太陽全面彩層画像のデータベース構築
 - b. 北井礼三郎
 - c. 602,000 円
 - (6.5) 「共同利用」
 - a. 太陽フレアのプリフレア相における粒子加速機構
 - b. 浅井歩
 - c. 57,000 円
 - (6.6) 「共同利用」
 - a. 深宇宙探査機への宇宙天気予報基礎研究
–極端紫外線画像データからフレア活動度を予測する試み–
 - b. 羽田裕子
 - c. 57,000 円

- (6.7) 「研究集会」
 - a. 太陽研究会「太陽の多角的観測と宇宙天気研究の新展開 2013」
 - b. 上野 悟
 - c. 384,000 円
- (7) 国立天文台
 - (7.1) 共同開発研究
 - a. 撮像分光のための狭帯域チューナブルフィルターの開発
 - b. 一本 潔
 - c. 2,800,000 円
 - (8) 大学間連携事業
 - (8.1) 大学間連携事業 特別経費
 - a. 「超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究」(IUGONET)
 - b. 参加: 柴田 一成、上野 悟、金田 直樹
 - c. 平成 21 年–26 年 平成 24 年度 2,320,000 円
 - (8.2) 大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築
—最先端天文学課題の解決に向けた大学間連携共同研究—に係る研究
 - a. 3.8m 望遠鏡を使った教育研究ネットワーク構築の策定
 - b. 柴田 一成
 - c. 19,800,000 円
 - (9) その他
 - (9.1) 宇宙科学研究所搭載機器基礎開発実験費
 - a. 衛星搭載用可視-近赤外狭帯域チューナブルフィルターの基礎開発
 - b. 一本 潔
 - c. 5,000,000 円
 - (9.2) 京都大学教育研究振興財団国際会議開催助成
 - a. 電波観測に基づく太陽活動と宇宙天気の研究
—野辺山電波ヘリオグラフの 20 年間と今後—
 - b. 一本 潔
 - c. 1,500,000 円